

研修名	<b>平成29年度 第2回 薬物関連問題実務者ネットワーク会議</b>
講師	<p>(1) 話題提供 「依存症回復支援施設の取り組みについて②」(マック編)</p> <p>北九州マック 施設長 坂本 鉄輔 氏 副施設長 高田 和久 氏</p> <p>(2) コメンテーター 新門司病院 診療部長 櫻井 修 氏</p>
開催日時	平成 30 年 1 月 29 日 (月) 18:30~20:30
開催場所	北九州市精神保健福祉センター セミナー室
参加者数	23 名 ※内訳：法務・矯正関係機関、医療機関、行政機関等の支援者等
研修の内容等	<p>(1) 話題提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州マックの沿革、活動やプログラム内容、利用方法、事例などについて説明。</li> </ul> <p>(2) グループ討議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題提供を受けて、各機関が担える役割や感想などについて意見交換を行なう。</li> </ul> <p>(3) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通してコメンテーターよりコメント。</li> </ul>
参加者の声	<p>&lt;参加者アンケートより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種連携機関の方と話ができて大変良かった。とても有意義な会になった。</li> <li>・ 顔の見える関係が良い。ネットワーク作りに役立つ。</li> <li>・ マックの取り組みやプログラムについて知ることができた。</li> <li>・ マックは施設見学もできると分かったので、是非見学に行きたい。</li> <li>・ マックが365日運営されていることが分かった。</li> <li>・ “「今日一日」の心構え” “スリップ（再飲酒）したからダメと言うわけではない” “依存症は回復できる” などの言葉が印象に残った。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>